

南信州軟式野球連盟(MSBL) 競技規約

- 第1条 この競技規約は、原則として全日本軟式野球連盟公認野球規則に準じる。
ただし、使用する球場、グラウンドにより特別規則を定める。
- 第2条 仕様球は、公認M号を使用する。
- 第3条 試合時間は、1時間30分または7回戦とし、80分を過ぎて新しいイニングに入らない。
1時間30分を超えて同点の場合は、引き分けとする。(リーグ戦の場合)
コールドゲームはなしとする。
決勝トーナメントで7回が同点の場合は、延長戦9回までとし以降特別ルールにて勝敗を決める。
特別ルール(サドンデス方式)
継続打順として、前回の最終打者を1塁走者とし2塁・3塁の走者は順次前の打者として、1死満塁の状態、1イニングを行い得点の多いチームを勝ちとする。
- 第4条 各チームは、試合開始15分前には、メンバー表を提出し、審判の指示に従うこと。
なお、試合開始が早くなる場合があるため、前試合の進行状況をよく把握すること。
メンバー表は4部作成する。
試合予定時間に試合のできる状態でないチームは、棄権とし不戦負とする。
- 第5条 雨天中止は、当日7:00までに運営委員長が決定し連絡網で通知する。
現地にて試合が不能と判断される場合は、審判と監督にて協議判断し決定する。
試合が不能と判断した場合、当該試合の主審は運営委員長に連絡し運営委員長は連絡網で連絡する。
- 第6条 試合中に、雨等にて試合を中断せざるをえない場合は、4回終了以上で成立とする。
4回未満は再試合とする。決定は両チームの監督と審判で判断する。
ただし、チームの理由で試合を中断する場合は、4回未満は不戦扱いとする。
試合の中止は、当該試合の主審が運営委員長に連絡し運営委員長は連絡網で通知する。
- 第7条 抗議は、監督または監督代行者、及び当該プレーヤーのみできる。
- 第8条 服装は運動のできる支度とし、ハーフパンツは禁止とする。
主審がふさわしくないと判断した場合は、着替えもしくは選手交代の指示をする。
- 第9条 極力ポイントスパイクを着用する。金属スパイクは禁止とする。
- 第10条 捕手は、ヘルメット、マスクを着用する。プロテクター、レガースは極力着用する。
- 第11条 打者、走者はヘルメット着用し、以外の時は帽子を着用する。
- 第12条 ファールボールは攻撃側のチームが処理すること。
- 第13条 試合中の事故については、各チームにて対応すること。保険等の加入をすること。
連盟事務局では事故の責任は負わない。
- 第14条 グラウンドローカルルールは、試合前に両チームで確認をする。

グラウンド整備、片付け

第1試合より数名と審判が共同で準備する

第2試合以降は、前後の試合チームが共同で整備し、第3試合チームは片付けも行う。

(1/2)

- 第15条 各リーグ戦の順位について
各リーグ戦の順位は、勝点ポイントで決める。
勝点は、各試合毎 勝ちチーム3点、引き分け2点、負けチーム1点を与える。
勝点が同点の場合は、得失点差の高低で順位を決める。
- 第16条 延期試合について
延期試合は雨天延期のみとする 試合棄権は2日前に対戦チームと審判、事務局に連絡する
棄権試合による他試合の繰り上げは原則行わないが、監督間で調整がつけば実施可とする。
不戦勝チームの勝点は3点、不戦負チームの勝点は0点とし、得点は双方チーム0点とする。
- 第17条 試合結果の連絡
1塁側ベンチのチームは、翌日の9:30までに当該試合の結果を所定のフォームで提出する。
HPの会員専用ページへログインし試合結果を送信する。(新聞社及び事務局へ自動送信される)
- 第18条 EDH制の導入 10人攻撃制を実施する
- 第19条 審判の役割分担 球審とボールボーイは3塁側、塁審は1塁側チームが行う
第三者による検温は上記同様に球審とボールボーイは3塁側、塁審は1塁側チーム選手全員の
検温を実施し健康チェックシートへ記入する。
※健康チェックシートは各チームで準備し審判へ渡す。
※健康チェックシートは選手会3役へ渡し事務局はシーズン中保管。
※健康チェックシートは個人情報でもある為、シーズン終了後に事務局が廃棄する事とする。

制 定 2010年8月8日
施 行 2010年8月9日
改 訂 2013年4月11日
2014年4月11日
2018年3月16日
2019年3月21日
2021年3月26日